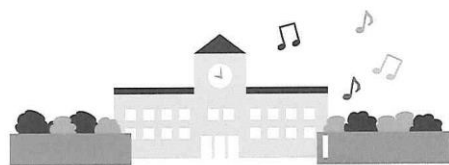




2013年定期演奏会から、会場は松本市音楽文化ホール



# スクールオーケストラ 訪問記

## 第7回♪松本秀峰中等教育学校オーケストラ部

中高一貫教育をきっかけ、2010年長野県松本市に開校した松本秀峰中等教育学校。同校オーケストラ部も創部5年目だ。創部当時、弦楽器経験者がいなかった同部は、3年目にベートーヴェンの交響曲を演奏した。今回は、発展を続ける同部の生徒たちの姿を紹介する。

取材・文・写真／山葉太郎

### 学校の開校と同時に創部

松本秀峰中等教育学校の開校と同時にオーケストラ部も誕生した。様々な地域から教諭陣が集められ、理科の教鞭をとる瀬川伸（せがわしん）先生がオーケストラ部の立ち上げを担当することとなった。大学でコントラスを始め、音楽科の教員免許も持つ瀬川先生は、1年目は弦楽合奏、2年目から管楽器を少しずつ入れていき、3年目には交響曲を演奏するという目標を立てた。全身全霊をかけてオーケストラ部と共に歩んだ。

中高一貫の同校では、中学3年間を前期、高校3年間を後期と呼ぶ。今回、話を聞いたのは、5年生で部長の瀧澤愛さん（Vn）、後期部長の熊崎綾乃さん（Fl）、後期副部長の太田采花（さいか）さん（Cb）、3年生で前期部長の塩原慧介（けいすけ）さん（Vc）の4人だ。5年前の創部の際、弦楽器メンバーだけが募集されていた時に、小学校からエレクトーンを習っていた瀧澤さん、吹奏楽部でパーカッションを演奏していた太田さんが、音楽を続けようと同部に入った。その後、2年目から管楽器部員を募集し始めた時、熊崎さんが入部してきた。

顧問の熱い思いに応える  
現在5年生の3人は、入部以来、瀬



▲2014年からオーケストラ指導をしていく古原さよ子先生と共に

▶毎週、月・水・金曜日が練習日。熱心な活動は創部3年目で交響曲を演奏



◀管楽器のメンバーもほぼ初心者から楽器を始めた



▶オーケストラ部を作ったメンバー（左から熊崎綾乃さん、瀧澤愛さん、太田采花さん、塩原慧介さん）

川先生のオーケストラに対する熱い思い、そして3年後にはオーケストラで交響曲を演奏するという大きな夢を共有。その目標に向かって練習に励んできた。しかし、他校では当たり前の先輩からの指導もなく、毎年の慣例行事なども自ら手探りで行わなければいけない現実。その不安と焦燥感には耐えがたい時もあったという。それを乗り越えた彼らは、2015年3月15日の第4回定期演奏会をもって卒部を迎える。

その定期演奏会のメインの曲は、3年生の時に初めて挑戦した交響曲、ベートーヴェンの第7番。その時と比べて「新たな仲間も増え、自分たちも成長しているので、大事な思い出の1コマとなるような、最高の演奏にしたい」と意気込みを語ってくれた（瀧澤さん）。

現在3年生の塩原さんは「1年生の時に部活動の紹介を見て、楽器体験をしてチェロでの入部を決めました。お世話になった5年生の先輩への恩返しの意味でも、先輩が卒業し

た後は、更に部活動を盛り上げ、先輩方を超えたいです」と希望を語ってくれた。オーケストラという長い歴史のある文化に飛び込む為には瀬川先生のような強い信念を持った指導者が必要である。その信念を受けて、生徒たちは想像以上の成長を遂げてくれたという事実。音楽の持つ力を信じ子どもたちを信じる事で、音楽を次の時代に伝えていくことができるのだと実感した。彼らの未来に期待したい。

### 松本秀峰中等教育学校 オーケストラ部

所在地：長野県松本市埋橋2-1-1  
部員：66名  
（弦楽器50名、管楽器16名）

創部：2010年  
活動：練習は週3回、月・水・金の放課後に行い、古典の楽曲を中心に練習。主な公演は、秋の文化祭と春の定期演奏会。2013年から12月末に行われる高校オーケストラフェスタに参加。